



環境経営レポート

2022年度



対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日

発行日：2023年5月20日

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



項目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、事業規模等）	2
対象範囲（認証・登録範囲）	2
環境経営活動組織図及び役割・責任・権限	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	6
代表者による全体評価と見直し・指示	6

環境経営方針

□ 基本理念

株式会社ソネザキは、廃棄物の収集運搬業務を通じて、循環型社会構築に向けて積極的に取り組み、地球環境及び地域環境の負荷を軽減し、持続可能な社会に貢献します。

□ 環境経営方針

1. エネルギー使用量の効率的利用によりCO2排出量の削減に努める。
2. 廃棄物の収集運搬業務を通じ、循環型社会の形成に貢献する。
3. 廃棄物の再資源化及びリサイクルの推進に努める。
4. 水使用量の削減に努める。
5. 行政機関、地域や関係団体等との連携を密にし、社会全体の環境保全活動に積極的に参画・支援・協力する。
6. 環境関連法規等や当社が約束したことを遵守する。
7. 環境経営方針は、全従業員に周知する。
8. 環境経営目標・活動計画を定め、継続的改善に努める。

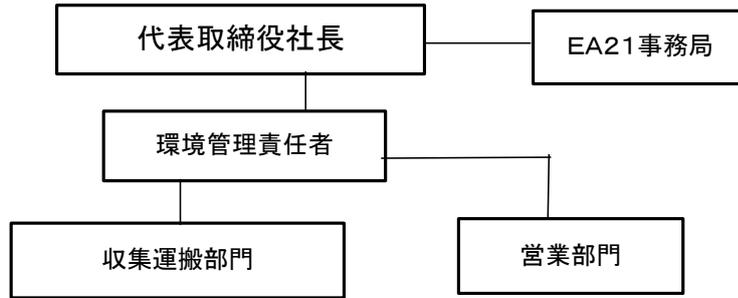
制定日：2011年4月1日

改定日：2019年4月1日

株式会社ソネザキ

代表取締役 藤下 正幸

制定日:2011年4月1日
更新日:2019年4月1日



	役割・責任・権限
最高責任者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定、見直し ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示に必要な情報(環境経営目標の達成状況等)を報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
電力使用量CO2排出量	kg-CO2	4,230	4,305	3,855
自動車燃料使用量CO2排出量（ガソリン）	kg-CO2	1,612	1,668	1,856
自動車燃料使用量CO2排出量（軽油）	kg-CO2	74,727	77,637	85,682
CO2排出量合計	kg-CO2	80,570	83,610	91,393
一般廃棄物排出量	kg	215	215	196
水使用量	m ³	246	246	233
一般廃棄物収集運搬量	t	4,620	2,977	3,852

※ 2019年度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：関西電力株式会社 0.318kg-CO2/kWh

※ガソリン：二酸化炭素排出係数 2.32kg-CO2/L 軽油：二酸化炭素排出係数 2.58kg-CO2/L

※コロナの影響で休業、廃業、長期化するので2020年度を基準年度として取組む。

【環境経営目標・実績】

*削減率：（実績÷基準値）×100% 向上率：（実績÷基準値）×100%

環境経営目標	単位	基準年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
		2020年度 (基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
一般廃棄物収集運搬量 (a)	t	2,919	—	3,852	—	—	—
電力使用量 (b)	kWh	13,302	—	12,124	—	—	—
電力使用量原単位 (b/a)	kWh/t	4.56	4.47	3.15	4.42	4.37	4.33
	基準年度比	削減率	98%	69%	97%	96%	95%
ガソリン使用量 (c)	L	695	—	800	—	—	—
ガソリン使用量原単位 (c/a)	L/t	0.238	0.233	0.208	0.231	0.229	0.226
	基準年度比	削減率	98%	87%	97%	96%	95%
軽油使用量 (d)	L	28,964	—	33,210	—	—	—
軽油使用量原単位 (d/a)	L/t	9.92	9.72	8.62	9.62	9.53	9.43
	基準年度比	削減率	98%	87%	97%	96%	95%
水道使用量の削減	m ³	246	241	233	239	236	234
	基準年度比	削減率	98%	95%	97%	96%	95%
一般廃棄物排出量の削減	kg	215	211	196	209	206	204
	基準年度比	削減率	98%	91%	97%	96%	95%
廃棄物の再資源化、分別の提案	件	9	11	14	11	12	13
	基準年度比	向上率	122%	156%	122%	133%	144%
社会貢献活動	・事務所周辺の清掃活動を毎月1回実施した。（原則、月初めの月曜日）						
	・ボトルキャップを回収し車いすの寄付を実施した。						

※自社排出の産業廃棄物なし、化学物質使用なし。



□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

達成率：削減目標 = (目標 ÷ 実績) × 100% 向上目標 = (実績 ÷ 目標) × 100%

取組内容の達成状況：○できた(100%) △(50%~100%未満) ×全くできなかった(0%)

取組内容	達成状況	継続/変更	評価と次年度の取り組み内容
電力使用量の削減	達成率	142%	<p><目標達成> ①~③を実施し、電力使用量は対前年比約2%と微増でしたが営業活動の効率化に取組み収集運搬量を増加したため目標を達成した。</p> <p><次年度> ①~③を実施し、節電に努めること。 ④のLED照明の更新を検討すること。</p> 
①空調の適正化(冷房28℃・暖房20℃)	○	継続	
②ブラインド・すだれを活用	○	継続	
③昼休憩は電気を消灯する	○	継続	
④LED照明への更新	×	次年度	
ガソリン使用量の削減	達成率	112%	<p><目標達成> ①~④を継続実施し、ノートパソコンを使用することにより、会社と営業先との往復が回数が減少し目標を達成した。</p> <p><次年度> ①~④を継続実施し、営業の効率化に努めること。</p> 
①エコドライブ運転の実施	○	継続	
②効率的な営業ルートの設定	○	継続	
③タイヤ空気圧の定期点検	○	継続	
④急なアクセル・急なブレーキに注意する	○	継続	
軽油使用量の削減	達成率	113%	<p><目標達成> ①~④を継続実施し、タブレット端末を活用し回収ルートの効率化に努め目標を達成した。</p> <p><次年度> ①~④を継続実施し、タブレット端末を活用し回収ルートの効率化に努めること。</p> 
①エコドライブ運転の実施	○	継続	
②効率的な回収ルートの設定	○	継続	
③タイヤ空気圧の定期点検	○	継続	
④急なアクセル・急なブレーキに注意する	○	継続	
水道使用量の削減	達成率	103%	<p><目標達成> ①~③を実施し、水の多くの使用量は洗車で使用しています。洗車に掛かる時間、水量も減少し目標を達成した。</p> <p><次年度> ①~③を継続実施し、コロナ禍で、衛生面への配慮が必要ですが極力控える努力に努めること。</p> 
①節水の呼び掛け	○	継続	
②蛇口締めつけ確認	○	継続	
③雨水の利用	○	継続	
一般廃棄物の削減	達成率	108%	<p><目標達成> 社員のリサイクルの意識も高まりと①~③を実施し、目標を達成した。</p> <p><次年度> ①~③を継続実施し、④プリントアウト後にFAXせず、パソコンより直接FAXを追加対策として実施し目標を達成すること。</p> 
①裏紙の使用及び両面コピーの実施	○	継続	
②ipadの活用により用紙の削減	○	継続	
③封筒の再利用	○	継続	
④パソコンより直接FAXの実施	×	次年度	
廃棄物の再資源化、分別の提案	達成率	127%	<p><目標達成> 昨今、リサイクルの関心が高まり、お客様から分別の質問を受けるようになってきたこと。循環型社会の実現への取組の意識が年々高まりがあり目標を達成した。</p> <p><次年度> ①~③を継続実施し、循環型社会の貢献に努めること。</p> 
①排出先への分別依頼	○	継続	
②選別の徹底	○	継続	
③資源ゴミ回収先の開拓	○	継続	

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（届出の実施、測定の実施、基準値の遵守等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業（許可の有効期限）	遵守
家電リサイクル法	消費者の責務（使用済特定家庭用機器の引渡義務）（テレビ、エアコン、冷蔵庫）	遵守
自動車リサイクル法	事業者の責務（使用済自動車の引渡義務）	遵守
道路運送車両法	保安基準、点検、整備、検査	遵守
NOx-PM法	事業者の責務（規制対象区域の規制）（車検証）大阪府適合車ステッカー制度終了	遵守
フロン排出抑制法	管理者の責務（7.5kW未満業務用エアコン）簡易点検（3か月1回）、記録の保管	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境関連法規制等は遵守している。

なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は、過去3年間ありません。

■ 内部コミュニケーション

- ・朝礼及び掲示板にエコアクション21の取組み状況、達成状況掲示し全員に周知している。

■ 外部コミュニケーション

- ・外部から環境関連に関する苦情、要求はありませんでした。
- ・エコアクション21についての当文書は当事業所に保管し、求めに応じ外部に公表する。
- ・社会貢献活動として事務所周辺の清掃活動、ボトルキャップの回収を実施している。

遵守確認年月日：2023年3月31日

環境管理責任者：森川幸男

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体の評価

電力使用量、自動車燃料使用量（ガソリン、軽油）の改善目標は、環境効率指標（原単位管理）を採用している。原単位の分母は、収集運搬量（t）を分母としている。

電力使用量は、不要電力の消灯等、自動車燃料使用量は、回収ルート効率化（最短化等）及び営業活動の効率化（LINEの活用等）を推進し目標を達成した。水使用量は、節水の意識の向上、雨水の利用（洗車）等実施し目標を達成した。一般廃棄物も社員のリサイクルの意識も高まりにより目標を達成した。廃棄物の再資源化、分別の提案は、循環型社会の実現への取組の意識が年々高まり目標を達成した。

(2) 見直し・指示

電力使用量は、不要電力の消灯、空調温度の適正化等節電を継続実施すること。次年度は、事業所のLED照明に更新することを検討すること。自動車燃料使用量は、生産性の向上（コストの削減）につながるため次年度も回収ルート効率化、営業活動の効率化に積極的取り組みこと。廃棄物の再資源化、分別の提案は、循環型社会に貢献するので積極的に取り組むこと。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	変更なし
環境経営目標	否	変更なし
環境経営計画	否	変更なし
実施体制	否	変更なし
その他の要素	否	特になし

2023年4月20日

代表取締役 藤下 正幸